

【25】都市河川の出水

東京都内の夏のにわか雨の体験です。

暑い一日の夕方近く、それこそ一天にわかにかき曇り冷たい心地よいが強い風が吹き始め、雷が鳴り、アッという間に猛烈な雨が降り出しました。(7月11日)

私は、都内の目黒川という小さい河川の傍に住んでおり、日曜日でしたので今回一部始終を見ることが出来ました。御多聞に漏れず、コンクリート3張りの四角断面で川巾15m、川底から護岸の高さは5mの殺風景な河道ですが、桜の木が並木として植えられているのが救いです。

降り出して10分で、河道の護岸に直径1mくらいの口を開けている下水管から黒い排水が川へ勢いよく噴き出すように流れ込み、あたりは昔懐かしい汲み取り便所のような臭気で満たされます。川の水はみるみる増え、洪水状態になりゴーゴーという音を立てて流れる様は小なりといえ迫力があります。流速3~4m/sくらいでしょうか、平常時のチョロチョロした流れとは想像もつかぬ恐ろしい眺めです。

降り始めから20分で雨はピタリと止んだのですが、洪水は増え続け、降り始めから40分後に水深最大1mくらいのピークに達し、以後は少しずつ減水して流水は清流となり降り始めから1時間40分後にはもとのチョロチョロ流れに戻ってしまいました。前後2時間弱のドラマでした。

小さい洪水でしたが道路はまるで高圧洗浄でもされたかのようにきれいになり、涼しくなると気分も爽快で、水害にならない程度の豪雨は悪くないと思いました。

なお、出水当初の臭気は東京の下水道が合流式のため、洪水時には河川水に生活污水も混じってくるからです。